

CSR調達／ビジネスパートナーとの連携

事業活動を支えてくださるビジネスパートナーとは、公平な競争機会や公正な評価・選定を基盤に、相互の品質向上・安全性確保に努めるとともに、連携してCSR調達を推進しています。

CSR調達基本方針の制定

サントリーグループでは、お客様に高品質な商品・サービスをお届けするため、安全・安心はもとより環境や社会にも配慮するなど、サプライチェーン全体においてCSRを推進していくことが重要だと考えています。

そして、調達におけるCSR活動をより一層強化するため、2011年に法令遵守、人権・労働基準、品質、環境、情報セキュリティ、社会との共生の6項目を柱とした「サントリーグループCSR調達基本方針」を制定し、ビジネスパートナーと連携してCSR調達を推進しています。

サントリーグループCSR調達基本方針 (2011年制定)

サントリーグループは、企業理念「人と自然と響きあう」と企業倫理綱領に基づき、安全・安心で高品質な商品・サービスをお届けするために、公正・公平な取引を実施し、サプライチェーンのお取引先とともに、人権・労働基準・環境などの社会的責任にも配慮した調達活動を推進します。

お取引先との良好なパートナーシップを構築し、真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 法令遵守と国際行動規範の尊重

各国の法令を遵守し、国際行動規範を尊重した公正・公平な調達活動を推進します。

2. 人権・労働・安全衛生への配慮

基本的人権を尊重し、労働環境や安全衛生に配慮した調達活動を推進します。

3. 品質・安全性の確保

「サントリーグループ品質方針」に準拠し、品質・コスト・供給の最適な水準に基づく高い品質と安全性の確保をめざした調達活動を推進します。

4. 地球環境への配慮

「サントリーグループ環境基本方針」に準拠し、地球環境に配慮した調達活動を推進します。

5. 情報セキュリティの保持

調達取引に関わる機密情報および個人情報は厳格に管理します。

6. 社会との共生

社会との共生に向けた社会貢献への取り組みを推進します。

サプライヤーとの公正・公平な取引を徹底

サプライヤーとの取引にあたっては「サントリーグループCSR調達基本方針」に基づいた「購買管理規定」や「取引先選定基準」に則り、各社に公平な競争機会を提供しています。同時に、各社の商品・サービスの品質や供給力、財務状況、安全確保、環境保全、社会貢献などの取り組みを公正に評価し、ビジネスパートナーを選定あるいは取引継続の可否を判断しています。

ビジネスパートナーとの連携強化

サントリーグループでは、サプライチェーンのビジネスパートナーとともに、CSR調達の推進に取り組んでいます。社内の担当者への教育をはじめ、原材料サプライヤー・製造委託先・物流協力会社の主要なビジネスパートナーに対して、CSR調達に関する説明会やアンケートを行い、意識啓発や活動の支援に取り組んでいます。

● ビジネスパートナー評価の実施

ビジネスパートナーとサントリーグループ双方の品質向上・業務改善に向け、毎年1回のお取引先評価と結果報告を行うほか、原材料サプライヤーを訪問し、生産現場での品質確認や情報・意見交換を実施しています。2012年は、海外を含む原料サプライヤーおよび包材サプライヤーについて、随時現地での品質監査を行いました。



健康食品「マカ」の原料視察

● 事業活動に意見を反映

ビジネスパートナーとの日常の取引でのやり取りに加えて、定期的な対話の機会を設けています。方針説明会や品質勉強会では、サントリーグループの考え方を説明し、その内容についてアンケートを行い、理解の度合いや感想などを記入していただいています。アンケートの結果は十分に分析し、事業活動に反映しています。

●原料サプライヤーとの取り組み

サントリーグループでは「食品衛生法」「農薬取締法」を遵守した適正な農薬使用を、ビジネスパートナーを通じて各産地に依頼、確認しています。これは、安全・安心な原料の確保だけでなく、土壌汚染や水質汚濁などを未然防止する観点からも重要です。このような活動を、CSRの観点からお取引先評価・選定の項目として検討していく計画です。

そのほか、2009年よりビール主要原料であるホップの生産農家を経営支援し、原料の安定調達に取り組んでいます。

安全で環境に配慮した物流の推進

輸配送業務を委託している物流協力会社と連携して発足した「安全推進委員会」には、2012年末で64社260名が参加。安全確保・環境配慮・リスクマネジメントなどの取り組みを推進しています。

●協力会社各社の安全推進を強化

「安全推進委員会」が制定した「物流安全5原則」を各社従業員に周知徹底するとともに、委員会事務局※が各社の拠点を巡回して、安全策実施状況を点検しています。

※サントリービジネスエキスパート(株)物流部、サントリーロジスティクス(株)安全推進部のマネジャーおよび担当者で構成

●安全推進大会で活動を共有

サントリーグループの配送センターをはじめ物流協力会社の倉庫、輸配送事業所など全国140拠点の責任者が一堂に会する「安全推進大会」を毎年開催しています。この大会では、勉強会やコンテスト実施などによる安全教育の徹底と優れた事例を紹介して情報を共有するほか、優秀なドライバーや拠点を表彰するなど、各社の安全に対する取り組み意欲の向上や強化につなげています。



第12回「安全推進大会」(2012年) 「安全推進大会」での表彰式(2012年)

●協力会社の安全管理を推進

物流協力会社の安全管理体制を常に一定水準以上に保ち、継続的に改善していくため、国土交通省が主導している「安全性優良事業所」の認定取得を推進しています。

サントリーグループの物流協力会社は、輸配送事業所全82拠点中79拠点が認定を取得(2012年末)、認定取得率は96%に達しています。これはトラック運送業界全体の取得率21.6%(2012年12月トラック協会調査)を大きく上回っています。また、2008年からは対象範囲を直接業務委託会社から2次協力会社まで拡大し、輸配送の安全管理体制の強化を図っています。

●協力会社の環境認証取得を推進

物流にともなう環境負荷の低減を目指し、「グリーン経営※」「ISO14001」や「エコステージ」などの認証取得を協力会社と推進しています。サントリーグループの物流協力会社では、2012年末までに全82拠点中88%にあたる72拠点がこれらの認証を取得。今後もさらに認証取得を支援していきます。また、「改正省エネ法」への対応として、物流協力会社の月別・車両別走行距離、燃料使用量、積載量などからCO₂排出量を算出、削減目標を設定して取り組んでいます。

※グリーン経営:国土交通省環境行動計画に基づいて設立された公益財団法人「交通エコロジー・モビリティ財団」が推進しているもの

●環境への配慮を推進

2008年より、輸送時の荷崩れ防止用のシュリンクフィルムに代わり、繰り返し使用できる「グリーンエコベルト」を導入しました。全物流協力会社に長距離輸送での使用を推進し、環境負荷低減を図っています。

●災害時に備えて体制を整備

災害などの有事に備えて、災害伝言ダイヤル「171」や、携帯電話による「災害伝言板」の有効活用を目的とした訓練を物流協力会社とともに実施しています。また、首都圏および近畿圏直下型地震発生時のアクションプランとして、被災地に通常の出荷拠点以外から「サントリー天然水」を緊急出荷する体制や、出荷拠点が被災した場合の代替出荷拠点の設定など、物流協力会社と対策を共有しています。